

《 卒業生は今 》

－ 漁業に就職して感じたこと －

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来、昨年度までの卒業生は902名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.38 Sくん (平成29年3月卒・機関専攻・現20歳) 遠洋かつお一本釣り漁船

Q. 仕事の内容は？

- * 航海中は、魚釣り、シニモノ（餌イワシの管理）、魚越し（冷凍魚のシフト）、魚艙の水張り、餌運びなどデッキの仕事全部やっている。
- * 機関の仕事は、当直では、オイル漏れ箇所の修理、ストレーナー掃除などの整備をしている。当直は、機関職員10人の時は1回に1人で2時間交代となる。ブライン作りも機関の仕事である。
- * 新人なので風呂掃除もやる。水揚げの時は魚艙に入って作業をする。

Q. 大変なことは？

- * 魚艙内での水揚げ作業は、狭い場所で動きづらく、足場も悪いためやりにくい。
- * 出港後、25～30日目で気持ちが折れそうになる。
- * 操業海域が近海の時は昼間が長くて大変である。

Q. 良いこと、楽しいことは？

- * 魚が大漁の時、双眼鏡で海を見ていてイルカや違う魚を見た時、陸では見られない風景を見たときは楽しい。
- * 近海操業の時に夜の自由時間にサンマをタモですくうのは楽しい。

Q. 学園在学中の思い出は？

- * 微熱でマラソン大会に出場し、優勝したことは思い出に残っている。
- * 仕事を始めたら、学園にいた時が天国だったことが分かった。

Q. 学園で学んだ（身に付けた）ことで、現場で役立っていることは？

- * 雑談も含めて先生の話しが役立った。
- * ロープワークは、ふた結び、巻き結び、もやい結びはよく使う。

☆. 在校生へのアドバイス

- * やる気をもって何でもやる。仕事は1番最後までいる。わからないこと事があるなら何でも聞く。筋肉をつける様にする。

(平成29年10月11日)